



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日

上場会社名 片倉工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3001 URL <https://www.katakura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上甲 亮祐
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 片倉 義則 (TEL) 03(6832)0229
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	22,014	△3.0	3,060	15.4	3,526	14.9	5,073	403.3
2020年12月期第2四半期	22,697	△6.2	2,651	28.8	3,068	20.4	1,008	△27.6

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 8,369百万円(—%) 2020年12月期第2四半期 △1,280百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	149.87	—
2020年12月期第2四半期	28.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	138,893	88,765	45.5
2020年12月期	134,384	81,843	42.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 63,159百万円 2020年12月期 57,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	—	—	16.00	16.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,400	△3.1	3,000	△16.6	3,800	△16.4	4,400	53.2	126.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想の詳細は、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期 2 Q	35,215,000株	2020年12月期	35,215,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	1,684,222株	2020年12月期	1,106,528株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期 2 Q	33,852,717株	2020年12月期 2 Q	34,959,536株

(注) 当社は、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託 (BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、四半期決算短信「添付資料」P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出入や設備投資が回復基調となり一部持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大にともなう緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令により、社会経済活動が制限され、個人消費が低迷するなど、厳しい状況で推移しました。また、今後の景気についても、新型コロナウイルスの変異株により新規感染者数が大幅に増加するなど未だ収束の兆しが見えず、一層不透明な状況となっております。

このような環境のなか、当社グループは、構造改革後も継続して収益基盤の強化や採算性の改善に取り組み、中長期的な企業価値の向上に努めております。

不動産事業については、社有地開発や既存商業施設の鮮度維持・魅力度向上等に経営資源を振り向け、更なる成長を図ってまいりました。

医薬品事業では、後発医薬品のラインナップ拡充、ライセンス活動の取り組み強化に加え、共同研究等による効率的な創薬開発体制の実現や販売・生産にかかるコスト構造の見直しにより収益基盤の確立に努めてまいりました。

機械関連事業の消防自動車事業では、採算性を重視した営業体制の構築や生産性の向上に継続して取り組んでまいりました。

また、繊維事業の実用衣料では、国内物流拠点の統合によるコスト圧縮、販路拡大に加えて、介護商品など付加価値の高い商品拡充による収益力強化を進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、不動産事業において前期に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、当社運営のショッピングセンター「コクーンシティ」で臨時休業や営業時間短縮を行ったことによる反動で増収となったものの、医薬品事業で多くの品目に薬価改定の影響を受け減収となったこと、機械関連事業において消防自動車関連で減収となったこと等により、220億14百万円（前年同四半期比3.0%減）となりました。

営業利益は、医薬品事業で減収により減益となったものの、不動産事業及び繊維事業で増収により増益となったこと、機械関連事業で原価低減の取り組みが奏功し増益となったこと等により30億60百万円（同15.4%増）、経常利益は35億26百万円（同14.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は当社及び子会社における固定資産売却益の計上により50億73百万円（同403.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 不動産事業

不動産事業は、前期に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、当社運営のショッピングセンター「コクーンシティ」で臨時休業や営業時間短縮を行ったことによる反動により増収となりました。

この結果、売上高は50億21百万円（前年同四半期比9.2%増）、営業利益は19億61百万円（同9.3%増）となりました。

② 医薬品事業

医薬品事業は、薬価改定の影響に加え、長期収載品である経皮吸収型・虚血性心疾患治療剤「フランドルテープ」の販売減等により減収となりました。

この結果、医薬品事業の売上高は70億84百万円（同10.3%減）、営業利益は6億28百万円（同34.1%減）となりました。

③ 機械関連事業

機械関連事業は、消防自動車関連で一般消防車の受注減により減収となりました。

この結果、機械関連事業の売上高は58億18百万円（同5.7%減）、営業利益は消防自動車関連の原価低減の取り組みが奏功し5億21百万円（同86.0%増）となりました。

④ 繊維事業

実用衣料の肌着が低迷したものの、耐熱性繊維等の機能性繊維が堅調だったことにより増収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は31億60百万円（同0.2%増）、営業利益は増収に加え、労務費、販売費等の減少により3億98百万円（同129.5%増）となりました。

⑤ その他

その他の区分は、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売等により構成されております。

訪花昆虫の販売、ビル管理サービス等が好調に推移したことにより、その他の売上高は9億28百万円（同5.9%増）、営業利益は労務費の減少等により1億18百万円（同74.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,388億93百万円（前連結会計年度末比45億9百万円増、同3.4%増）となりました。

これは、仕掛品が減少したものの、現金及び預金、投資有価証券が増加したことが主因であります。

(資産の部)

流動資産は、554億6百万円（前連結会計年度末比15億83百万円増、同2.9%増）となりました。増減の主要な項目は、現金及び預金、商品及び製品、仕掛品であり、現金及び預金が40億67百万円増加し、商品及び製品、仕掛品がそれぞれ8億41百万円、16億79百万円減少しました。

固定資産は、834億87百万円（前連結会計年度末比29億26百万円増、同3.6%増）となりました。増減の主要な項目は、建物及び構築物、投資有価証券であり、建物及び構築物が8億40百万円減少し、投資有価証券が40億83百万円増加しました。

(負債の部)

流動負債は、168億86百万円（前連結会計年度末比28億2百万円減、同14.2%減）となりました。増減の主要な項目は、支払手形及び買掛金、未払法人税等、その他であり、未払法人税等が12億9百万円増加し、支払手形及び買掛金、その他がそれぞれ22億53百万円、16億7百万円減少しました。

固定負債は、332億42百万円（前連結会計年度末比3億89百万円増、同1.2%増）となりました。増減の主要な項目は、長期借入金、繰延税金負債であり、長期借入金が7億62百万円減少し、繰延税金負債が11億17百万円増加しました。

(純資産の部)

純資産は、887億65百万円（前連結会計年度末比69億21百万円増、同8.5%増）となりました。また、自己資本比率は45.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの「現金及び現金同等物」(以下、「資金」という。)は、117億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億67百万円の増加(前連結会計年度末比47.0%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、35億22百万円(前年同四半期は22億45百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益(72億98百万円)、非資金項目である減価償却費(14億円)を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、27億94百万円(前年同四半期は16億68百万円の収入)となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入(33億87百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、25億49百万円(前年同四半期は20億2百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出(7億62百万円)、自己株式の取得による支出(8億38百万円)、配当金の支払額(5億46百万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間終了時点の営業利益等は、当初の通期予想数値を上回る結果となりましたが、通期業績予想については据え置くこととしております。これは、第2四半期連結累計期間に抑制していた設備投資を今後実施する予定であることや、新型コロナウイルス感染症の足元の感染拡大による業績の悪化懸念等から、第3四半期以降の業績は当初計画よりもダウントレンドになることを見込んでいるためであります。

今後の業績動向を踏まえ、業績予想数値の修正が必要となった場合には速やかに開示します。

【ご参考】セグメント業績予想

(単位：百万円)

	通期(予想)	
	売上高	営業利益
不動産	10,100	3,450
医薬品	12,900	200
機械関連	7,200	100
繊維	6,450	350
その他	1,750	100
調整額	—	△1,200
合計	38,400	3,000

当資料で記載している業績予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、不確実な要因に係る仮定を前提としています。したがって、実際の業績は、様々な要因によって、記載している内容と大きく異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,522	35,589
受取手形及び売掛金	7,682	8,162
リース投資資産	4,966	4,921
有価証券	—	30
商品及び製品	2,970	2,129
仕掛品	2,702	1,022
原材料及び貯蔵品	2,426	2,286
その他	1,565	1,272
貸倒引当金	△12	△7
流動資産合計	53,822	55,406
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,531	26,691
土地	16,416	16,342
その他（純額）	2,195	2,134
有形固定資産合計	46,143	45,168
無形固定資産	381	271
投資その他の資産		
投資有価証券	31,166	35,250
退職給付に係る資産	2,139	2,149
その他	749	663
貸倒引当金	△18	△15
投資その他の資産合計	34,036	38,047
固定資産合計	80,561	83,487
資産合計	134,384	138,893

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,180	2,926
短期借入金	3,041	2,897
1年内返済予定の長期借入金	1,525	1,525
未払法人税等	851	2,061
賞与引当金	295	296
役員賞与引当金	7	0
その他	8,786	7,179
流動負債合計	19,688	16,886
固定負債		
長期借入金	8,147	7,384
長期未払金	1,464	1,381
繰延税金負債	8,622	9,740
役員株式給付引当金	51	68
土壤汚染処理損失引当金	39	35
退職給付に係る負債	2,588	2,429
長期預り敷金保証金	8,747	8,984
資産除去債務	1,513	1,489
その他	1,676	1,727
固定負債合計	32,852	33,242
負債合計	52,541	50,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,817	1,817
資本剰余金	282	282
利益剰余金	42,689	47,215
自己株式	△1,352	△2,190
株主資本合計	43,437	47,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,264	16,183
繰延ヘッジ損益	△11	13
退職給付に係る調整累計額	△166	△161
その他の包括利益累計額合計	14,086	16,035
非支配株主持分	24,319	25,605
純資産合計	81,843	88,765
負債純資産合計	134,384	138,893

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	22,697	22,014
売上原価	14,254	13,441
売上総利益	8,442	8,572
販売費及び一般管理費	5,791	5,512
営業利益	2,651	3,060
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	460	452
その他	175	210
営業外収益合計	637	663
営業外費用		
支払利息	54	47
投資有価証券評価損	31	—
契約解約損	—	39
たな卸資産処分損	—	41
その他	133	68
営業外費用合計	219	197
経常利益	3,068	3,526
特別利益		
固定資産売却益	—	3,771
投資有価証券売却益	—	102
特別利益合計	—	3,874
特別損失		
割増退職金	993	102
新型コロナウイルス感染症による損失	280	—
特別損失合計	1,273	102
税金等調整前四半期純利益	1,794	7,298
法人税、住民税及び事業税	688	2,006
法人税等調整額	△321	△113
法人税等合計	366	1,893
四半期純利益	1,428	5,405
非支配株主に帰属する四半期純利益	420	331
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,008	5,073

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	1,428	5,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,674	2,913
繰延ヘッジ損益	△2	24
退職給付に係る調整額	△32	26
その他の包括利益合計	△2,708	2,964
四半期包括利益	△1,280	8,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,466	7,022
非支配株主に係る四半期包括利益	186	1,347

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,794	7,298
減価償却費	1,477	1,400
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27	0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16	△7
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	5	16
土壌汚染処理損失引当金の増減額 (△は減少)	△4	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△23	△84
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△739	△47
受取利息及び受取配当金	△462	△452
支払利息	54	47
固定資産処分損	—	28
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△3,771
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△102
割増退職金	993	102
売上債権の増減額 (△は増加)	△449	△479
リース投資資産の増減額 (△は増加)	42	45
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,488	2,660
未収消費税等の増減額 (△は増加)	185	227
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,813	△2,253
未払金の増減額 (△は減少)	△984	△743
未払費用の増減額 (△は減少)	810	427
預り金の増減額 (△は減少)	298	△1,028
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△78	233
長期前受収益の増減額 (△は減少)	△70	36
その他	112	370
小計	3,598	3,913
利息及び配当金の受取額	462	452
利息の支払額	△50	△45
割増退職金の支払額	△993	△9
法人税等の支払額	△771	△787
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,245	3,522

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	2,518	△300
有形固定資産の取得による支出	△578	△379
有形固定資産の除却による支出	△117	△71
有形固定資産の売却による収入	2	3,387
無形固定資産の取得による支出	△163	△5
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却及び償還による収入	6	136
貸付金の回収による収入	2	0
その他	1	31
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,668	2,794
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△153	△143
長期借入金の返済による支出	△762	△762
自己株式の取得による支出	△342	△838
配当金の支払額	△491	△546
非支配株主への配当金の支払額	△61	△61
設備関係割賦債務の返済による支出	△91	△91
その他	△97	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,002	△2,549
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,911	3,767
現金及び現金同等物の期首残高	3,503	8,017
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,414	11,785

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2020年3月27日開催の取締役会決議に基づき自己株式222,500株、2021年3月30日開催の取締役会決議に基づき自己株式355,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が838百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が2,190百万円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	不動産	医薬品	機械関連	繊維	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	4,596	7,899	6,168	3,155	877	22,697	—	22,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	—	—	3	120	138	△138	—
計	4,610	7,899	6,168	3,158	998	22,835	△138	22,697
セグメント利益又 は損失(△)	1,794	953	280	173	68	3,270	△619	2,651

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△619百万円には、セグメント間の取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△617百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	不動産	医薬品	機械関連	繊維	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	5,021	7,084	5,818	3,160	928	22,014	—	22,014
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	—	—	1	130	147	△147	—
計	5,036	7,084	5,818	3,162	1,058	22,161	△147	22,014
セグメント利益又 は損失(△)	1,961	628	521	398	118	3,628	△567	3,060

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△567百万円には、セグメント間の取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△562百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。